The 2 Chome Times２０２１年８月号

NO1 のプレミアムストリートをめざして

NO２７９.

２０２１・８月・２５日

発行　神戸三宮センター街２丁目商店街振興組合（tel331-3091）(fax333-8591)　２丁目タイムス８月号
編集：企画・商業振興部、編集長：芹澤邦明　http://www.centergai2.com　E-mail:centergai2@nifty.com
フェイスブックでも発信しています https://www.facebook.com/centergai2/
２丁目で KOBE　Free Wi-Fi ご利用いただけます

★安心・安全の街へ！　ワクチン出張接種が行われました！

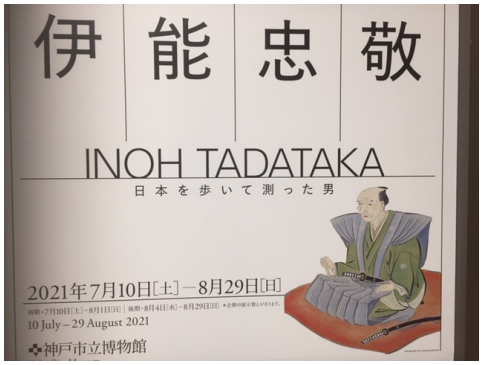
ワクチンの供給不足により一時中断していた出張接種が８月１８日（水）、１９日（木）、２３日（月）の三日間、サンセンタープラザの会場で行われました。４６０名余りの接種希望者があり、各日ともに午前１０時から午後２時までの 4 時間、休むことなく接種が行われました。もちろんドクターは名芳病院の鄒（ツゥオ）先生で短時間の間に懸命に接種行為を続けて下さいました。受付などのお手伝いは有志で行い、初めての体験で慣れない中、大きな混乱も幸いなくて、ホッと一安心でした。今回の接種以降も第３回目が考えられますし、これからも鄒先生のご協力が得られれば、街全体でこのプロジェクトを進めて行き、ワクチンを希望される方々全員にスムースに届くようお手伝いが出来ればと思っています。鄒先生、そして関係者の皆様、今回は本当にお疲れ様でした。改めて深く感謝申し上げます。

★夏の献血活動に参加しました

連日の激しい雨と猛暑で皆様も困っておられると思います。そんな中、毎年この時期には献血にご協力して頂ける方々の人数が大幅減少してしまい、医療行為に支障が出かねません。
そのため２４年以上前から街ぐるみで献血への呼びかけをしてます。コロナ禍での献血活動ですから、大きな声も出せず、通行される方に近づきティッシュペーパーをお渡しも出来ず、非常にやりにくい状況下での活動ですが、今回も多くの街衆が汗をかきながら参加してくださいました。引き続きコロナ禍での医療支援に少しでもお役に立てる様に汗をかいて行きますのでご協力をお願い致します。

★神戸市立博物館　伊能忠敬展に行ってきました

神戸市立博物館で８月２９日（日）まで行われている「伊能忠敬展」に行ってきました。伊能忠敬は皆さんがご存じの様に初めて日本地図を完成した偉大な人物ですが、生まれは江戸時代も終盤に差し掛かった１７４５年で１８１８年に７３歳でこの世を去っています。今回私も初めて知りましたが、忠敬が測量の道に進んだのは４９歳の時でそれまでは家業の繁栄や村の繁栄に尽力しました。彼は日本地図を完成させた事で有名ですが、高い商才もあり、傾きかけていた伊能家を立て直し、家督を長男に譲ってから江戸に出ました。しかも当時、幕府の天文方に属する、３１歳の天文学者、高橋至時（タカハシヨシトキ）に教えを請い、天体観測を重視した測量により当時としては脅威的に精度の高い地図（大日本沿海輿地全図）を完成させましたが、地位も名誉もあった伊能が年下の高橋に教えを請うのは大変だったようです。そして５５



伊能小図　西日本

歳の時に蝦夷地（北海道）の測量を皮切りに東北・関東・近畿・中国・四国・九州と歩いて測量し、１７年間で歩いた距離は４万キロにも及んだそうで、これは日本一周に相当するものです。そして面白かったのはある意味当然かもしれませんが、測量だけに没頭していたのではなく、各地の旧所名跡にも立ち寄り、観光も楽しんでいたことでした。どこか伊能忠敬の人柄も感じることができるようで、親しみが持てました。実際の会場は少し薄暗く、地図自体も淡色系が使われているので多少の見づらさはありましたが、素晴らしい作品ばかりで、あと自筆の手紙も拝見しましたが、その達筆さにも驚き、偉人は何をしてもすごいなと感心しました。どうぞお時間のある方はご覧になってください。

神戸市立博物館：神戸市中央区京町２４番地　Tel.078-391-0035　　８月２９日（日）まで開催中

★三宮の再開発に素晴らしい素材があります！

皆様の中にも既にご承知の方もおられるとは思いますが、私は報道で最近 CLT という新しく開発された木質系材料の事を知り、驚くと同時に「これはこれからの三宮の街創りにも変化を与えるな」という強い印象を持ちました。もちろん金閣寺や東大寺のように遥か悠久の時を超えて存在し続ける木造建造物は頭にはありますが、一般的に鉄筋コンクリート造の建物の方が〝強い〟と感じてしまいます。

CLT とは Cross Laminated Timber（JAS では直交集成板）の略称で、ひき板（ラミナ）を並べた後、繊維方向が直交するように積層接着した木質系材料です。厚みのある大きな板であり、建築の構造材の他、土木用材、家具などにも使用されています。CLT は RC 造などに比べて軽量（鉄筋コンクリートの５分の１）で工期自体もかなり短縮することが可能です。そのうえ高い耐火性能があり、この素材は毎分１ｍｍの速度でゆっくり燃え進み、厚さ９０ｍｍのＣＬＴが１時間燃えても壁が燃え抜けないという素晴らしい素材です。さらに CLT の表面をそのまま見せて用いると、木の香りや温もりを感じる気持ちのいい空間ができます。また、CLT の活用は林業・木材産業の活性化、さらには CO2 排出量削減や森林保全にもつながり、地方創生と環境の両面からサステナブルな社会の実現に貢献します。CLT は 1995 年頃からオーストリアを中心として発展し、現在では、イギリスやスイス、イタリアなどヨーロッパ各国でも様々な建築物に利用されています。また、カナダやアメリカ、オーストラリアでも CLT を使った高層建築が建てられるなど、CLT の利用は近年になり各国で急速な伸びを見せています。つまり三宮での再開発をこの素材を使い JR 高輪ゲートウェイ駅の様に特色を持った建物として建設することに高い現実性があります。想像してみて下さい。街を歩いていると微かに木の香りと温もりを感じる。素敵だと思いませんか！！

★編集後記

困難な中、多くの感動を与えてくれたオリンピックが終わり、パラリンピックが行われます。開会式が８月２４日（火）に行われ、競技は２５日から始まり、閉会式は９月５日（日）の日程になっています。これはあくまでも個人的な意見ですが、緊急事態宣言が何度も出され、緊張感が希薄になり、慣れも生じ、デルタ株が蔓延している中で、今の脅威的な感染者数はこの世界的なイベントが少なからず影響したとはいえ、必然ではなかったのかと考えております。とにかく早く、それも一刻も早く、国民の皆さんにワクチンが行き渡る様に願っています。国民全体の免疫性が上がるには接種率が９０％以上必要と言われています。ワクチンを打たない選択もありなのでしょうが、それは何も武器を持たずに敵と戦う事を意味している気がしてなりません。今回、センター街２丁目で行った集団接種はこれからも継続して行われる予定です。今、世界的な趨勢では３回目のワクチン接種がささやかれています。コロナとの戦いに尻込みばかりしているわけにはいきません。どうぞ皆様のご理解とご協力をお願い致します。